



ごあいさつ

本日は、私たち南アルプス桃源ウインドアンサンブル第1回定期演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

私たち、南アルプス桃源ウインドアンサンブルは、本年4月に発足し、僅か8ヶ月で今日の演奏会を迎えることとなりました。

一口に演奏会と言っても、演奏会を開くにはとても莫大なエネルギーを要します。日々の練習・演奏は言うまでも無く、パンフレット・チケット等の作成や、各自治体への広報活動など、それは容易なことではありません。

団員一人一人は勿論ですが、ひとえに家族の皆さんのご理解、ご協力に加え、桃源文化振興協会の方々、更には演奏における賛助出演の方々らに、支えられて今日まで来れたものと感謝しております。

まだまだ、未熟な私達ですが、本日ご来場頂いた皆様方に、感謝の気持ちを込め、団員一同精一杯の演奏をいたしますので、どうぞ最後までお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

南アルプス桃源ウインドアンサンブル
団長 大八木俊男



組曲「惑星」作品32

組曲「惑星」は7つの楽章からなっており、それぞれに星の名とその神の名がつけられています。

- 第1曲 火星—戦争の神
- 第2曲 金星—平和の神
- 第3曲 水星—翼のある使いの神
- 第4曲 木星—快樂の神
- 第5曲 土星—老年の神
- 第6曲 天王星—魔術の神
- 第7曲 海王星—神秘の神

ホルストはイギリスの作曲者であり、大英帝国イギリス王室の永遠の繁栄を祈り「惑星」を作りました。組曲「惑星」は、ホルストの母国イギリス大英帝国とその衛星国のことを表わしています。

なお、組曲に冥王星が含まれていないのは、作曲当時まだ発見されていなかったからのようです。

惑星の中心である「木星」は大英帝国のことであり、中間部の有名な民謡風の旋律は王室を表し、後にこの旋律に王室を賛美する歌詞がつけられ、歌われるようになりました。

太陽系の中で、木星はもっとも大きい惑星であり、他の全ての惑星を合わせたものより2倍も大きい惑星だそうです。この組曲「惑星」で流れる「木星」のメロディーは、その壮大さを悠然と表現しています。

果てしない宇宙と、そこに浮かぶ大きな惑星「木星」をイメージして演奏いたします。